

水鳥にエサをあげてはイケない10の理由

① 水鳥は、食べるものに困ってません。自分で食べものを探せます。

② 毎年パンをのどに詰まらせて死んでしまうハクチョウやカモがいます。細かくちぎっても、慌てて次々と飲み込んでしまうので、だめなのです。

③ ヒトの食べものは、塩分や添加物が入っていて水鳥の体によくありません。

④ 水鳥がたくさん集まって、一箇所にたくさんフンをして、水を汚します。

⑤ 食べ残しのエサも、水を汚します。水が汚れると、そこに暮らす他の生きものに悪い影響があります。宮島沼も水が汚れて、たくさんの生きものがいなくなりました。

⑥ もらえるエサに頼って、水鳥が自分で食べものをとらなくなりません。

⑦ もらえるエサに頼って、代わりに食べものがないのに水鳥が居着いてしまうようになりません。そんなハクチョウが、突然の寒波でたくさん死んでしまったこともあります。

⑧ ヒトからエサをもらうのは、ハクチョウやオナガガモなど、一部の水鳥だけです。一部の水鳥をひいきすると、自然界のバランスがくずれません。

⑨ 水鳥はペットではありませんので、必ずしも清潔ではありません。

⑩ 「野の鳥は野に」。水鳥を守るためには、水鳥が生きていく環境を大切にすることが基本なのです。